

論究会社法

——会社判例の理論と実務

田中 亘 = 白井正和 = 久保田修平 = 内田修平 編

2020年11月発売 / 392頁 / 本体3900円 + 税
A5判 / 並製



編集担当者から 『法学教室』に2年間にわたって連載された「会社法判例——より深く学ぶ、考える」を単行本化した一冊です。

本書では、学習・実務の双方において重要な会社法判例について、研究者の先生と実務家の先生に、それぞれの視点から分析していただきました。学習と実務の橋渡しを意識し、講義や教科書で学んだ会社法判例について復習しながら、同じ判例の実務における理解の仕方や、実務への影響を知ることができます。

本書は、会社法の理解をさらに深めたい読者、また最新の議論を押さえたい読者におすすめします。一方で、会社法にいまひとつ興味を持っていない読者にも読んでいただきたいと思います。特に実務家の先生による分析からは、講義や教科書で学ぶことが、実務においてどう使われているかをイメージできるでしょう。そのようなイメージを持てれば、勉強もひと味ちがったものになるはずです。

なお、『法学教室』での連載終了後には、会社法改正や、「公正なM&Aの在り方に関する指針」の策定など、会社法の学習・実務に関する重要な動きがありました。本書ではこれらの動向にも触れています。(0)

Index



学びたい・知りたいユニットから読んでみてください。

Unit 00 [座談会] 会社法判例の理解を深める

第1部 コーポレートガバナンス

- Unit 01 信託を利用した株主権の分離
- Unit 02 株主名簿閲覧謄写請求の拒絶事由
- Unit 03 取締役の善管注意義務と経営判断原則
- Unit 04 親会社取締役の子会社管理義務
- Unit 05 株主代表訴訟の対象
- Unit 06 役員の特第三者責任
- Unit 07 設立中の会社に関する問題

第2部 M&A

- Unit 08 第三者からの買収オファーと株式買取請求
- Unit 09 非独立当事者間の企業買収における「公正な価格」
- Unit 10 非上場株式の「公正な価格」
- Unit 11 会社分割と債権者保護
- Unit 12 企業買収合意における取引保護条項
- Unit 13 支配権争いと不公正発行
- Unit 14 債務超過会社の倒産局面における株主の地位と取締役の責任